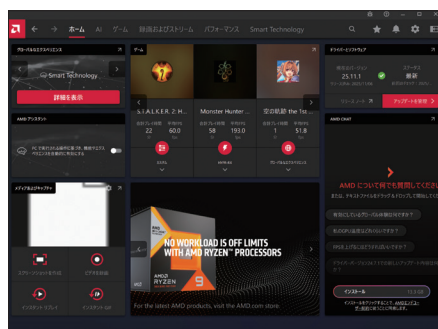
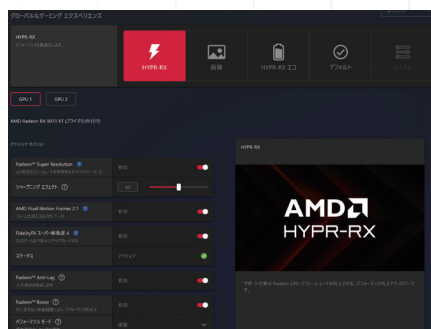


AMD Software:Adrenalin&AMD Ryzen Masterを活用



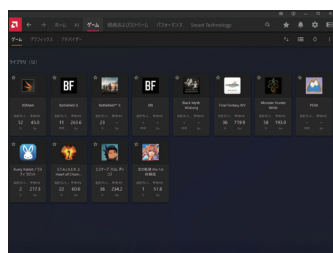
Radeonを最大限活用しよう

ゲームフレームレートの引き上げや、画質の向上、操作の遅延低減、ゲームの録画などを行える便利なアプリが、AMD Software:Adrenalinになる。



ワンクリックで性能アップ

初回起動時の設定選択画面にて「HYPER-RX」を選ぶだけで、解像度の動的変更や、遅延低減などが有効に設定され、ゲーミングパフォーマンスが向上する。



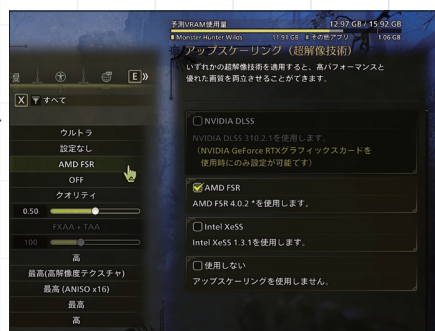
インストールしてあるゲームの設定画面にて、「FidelityFX スーパー解像度 4」を有効に設定しよう。

話題のFSR 4※3を活用しよう！



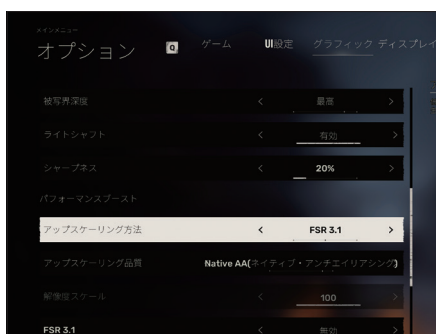
ゲーム内でFSR 4が有効になる

FSR 4対応ゲームタイトルでは、使用されるFSRの表記が「FSR 4.x.x」などになる。ゲームで異なり、画面は「モンスターハンターワールド」の場合だ。



FSR 3.1を自動でアップデート

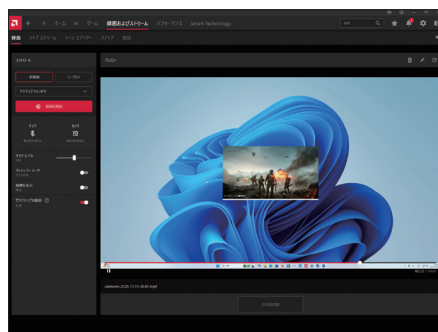
FSR 3.1対応ゲームタイトルを、強制的にFSR 4化することができる。ゲーム側のアップスケーリング設定で、FSR 3.1（表記はゲームで異なる）を選択。



AMD Software側を設定

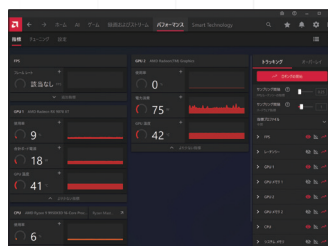


ゲームの「FidelityFX ~」を有効に設定すると、ゲーム起動時にFSR 4が利用可能と表示されるようになる。



便利な「録画およびストリーム」

AMD Softwareには、録画機能なども備わっている。アプリの操作画、作業画面や、ゲームのプレイ動画を録画、編集して配信するといったことができる。



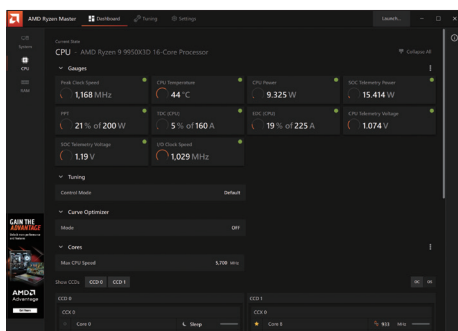
「パフォーマンス」にてCPUやGPU情報の「トラッキング」や、情報を表示する「オーバーレイ」を設定可能。

モニタリングもできる



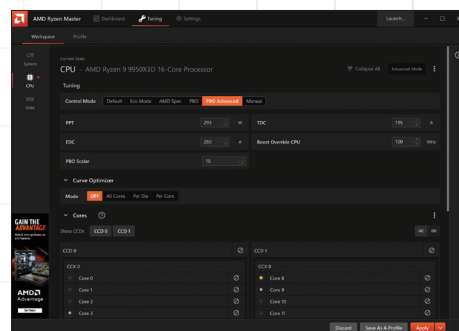
AMD Ryzen Masterも注目

AMDは、Ryzen向けのオーバークロックユーティリティを用意している。それがCPUの各種電圧などのモニタリングも行えるAMD Ryzen Master※4だ。



Ryzenの動作をカスタマイズ

Tuningにて、CPUの電力制限となるPPTから、CCDの無効化などまで、さまざまな項目のカスタマイズが行える。難易度は高いが挑戦してみよう。



※3 Radeon RX 9000シリーズ搭載ビデオカードが必要
※4 <https://www.amd.com/ja/products/software/ryzen-master>